

## 【ヒアリに刺された場合の症状と対処等】

### 安静にし、急激な容体の変化が 現れたらすぐに病院へ

ヒアリの毒への反応は人によって大きく異なります。刺されたときには安静にし、急激に容体に変化する場合には速やかに病院に行きます。

#### 症状

##### ●軽度／刺された部位の痛みやかゆみ

刺された瞬間は熱いと感じるような、激しい痛みが走ります。やがて、刺された痕が痒くなります。10時間ほど経つと膿ができます。

##### ●中度／じんましん

刺されて**数分から数十分後**には刺された部分を中心に腫れが広がり、部分的、または全身にかゆみをともなう発疹（じんましん）が現れることがあります。

##### ●重度／呼吸困難・血圧低下・意識障害

刺されて**数分から数十分の間**に息苦しさ、声がれ、激しい動悸やめまいなどを起こすことがあります。進行すると意識を失うこともあります。これらの症状が出た場合には重度の即時型のアレルギー反応「アナフィラキシー」である可能性が高く、**処置が遅れると生命の危険**も伴います。

##### ●ヒアリの毒成分

ヒアリの毒にはアルカロイド毒であるソレノブシン（2-メチル-6-アルキルピペリディン）のほか、ハチ毒との共通成分であるホスホリパーゼやヒアルロニダーゼなどが含まれています。そのためヒアリに刺された経験がなくても**ハチ毒アレルギーを持つ方は特に注意**が必要です。

#### 対処

##### ●刺された直後の対処

20～30分程度は安静にし、体調の変化がないか注意しましょう。軽度の症状のみであり症状が悪化する様子がなければ、ゆっくりと病院を受診しても大丈夫です。

##### ●容体が急変したとき

症状は急速に進むので、とにかく**一番近い病院**を受診します（救急受け入れのある病院であればなお良い）。**「アリに刺されたこと」「アナフィラキシーの可能性**があること」を伝え、すぐに治療してもらいます。

##### ●もしもの場合に備えて

特にアナフィラキシーの危険がある方は、前もって医師に相談し、アレルギー反応を緩和するためにアドレナリン自己注射キット「エピベン」を用意しておくことができます。重度の症状が出始めた時点で使用すると効果的です。また、軽～中度の症状には効果的な抗ヒスタミン剤の内服薬を用意しておくこともできます。



アドレナリン自己注射キット

アナフィラキシーについては  
下記のウェブサイトも参考になります

##### 日本アレルギー学会

[http://www.jsaweb.jp/general/qa\\_anaphylaxis\\_con.html](http://www.jsaweb.jp/general/qa_anaphylaxis_con.html)

##### リウマチ・アレルギー情報センター

<http://www.allergy.go.jp/allergy/guideline/05/05.html>

（出典：環境省「ストップ・ザ・ヒアリ」）